

TADAIMA RYUSOU

ただいま、りゅうそう。

vol. 5 / 2025年12月号



OKAERI

おかえりなさい



ただいま、おかえり。

目次 contents

地域の中で、共に生きる	3
地域への恩返しメニュー	5
RYUSOUと生きる人 # 9	6
RYUSOUと生きる人 # 10	8
イベントレポート	10
RYUSOU ANIMAL FAMILY	11
チーム紹介（居宅介護支援センター）	12
RYUSOU やさしいキッチン	13
RYUSOU インタビュー この場所で。	14
ほっこりエピソード 編集後記	15

静岡市の伝承話 沼の婆さん

今から七百年前、瀬名十郎忠本に嫁いだ麻機城主の娘、秋野は女の子「小菊」を生ましました。小菊が十六歳の時、駿河国の脇屋義助と結婚し翌年女の子「こよし」を出産しました。ところが、小菊は出産三日後に亡くなり、義助も病死したため、こよしは祖母の秋野に育てられました。

ある時、こよしは秋野の病気が治るように、麻機の浅間神社にお参りに行く途中、沼で河童に襲われ帰らぬ人となりました。秋野は病の身をおして、こよしの沈んだ沼に行き、大蛇に変身して河童と闘いましたが勝負はつきませんでした。

百年後、大谷の大正寺の僧がお経をあげたところ、大蛇が浮かび上がり、お経のお陰で河童を退治できたことを告げ、再び水中に消えました。この時のうずまきが巴のようだったことから、巴川と呼ばれるようになりました。

その後、沼に宝器草という蓮が生え、村人は飢饉の時に、蓮の実を食べて飢えをしのいだと伝わっています。



温もりの場所

地域の中で、共に生きる



挿絵：イロイロなカタチ

手探りで始まった挑戦

「地域福祉」という言葉。最近になってやっと、地域の中でも聞かれるようになってきました。今では大学で専門的に学ぶこともできるこの分野ですが、竜爪園が地域福祉に取り組み始めた頃は、まだ誰もがその道筋を見出せずにいた時代でした。

先代の理事長には、強い想いがありました。「地域福祉をやらなくてはならない」と。介護事業だけではない。もっと広く、地域の困りごとに寄り添う事業を。その想いから、竜爪園の新たな挑戦が始まったのです。しかし、前例のない取り組みです。マニュアルもノウハウもない。手探りでスタートでした。自分たちの足で情報を得ることから始めなければならなかった。その困難さは想像に難くありません。

地域福祉とは何だろう

「地域福祉」と一言で言っても、その言葉を実行に移すために関わってくれる人の多さに、本当に驚くんです」と、竜爪園の地域福祉スタッフが語ってくれた言葉が、印象的でした。スクールソーシャルワーカーとして、学校、保護者、行政、そして地域の様々な人々と繋がりながら、子どもたちの支援に携わる日々。地域福祉は、決して一人や一つの組織だけでできるものではないのです。

国も「地域共生社会」を掲げ、地域で支え合う仕組みづくりを進めています。先代の理事長が見据えていた未来が、少しずつ形になってきているのかもしれない。

「以前に比べて子どもたちへの支援が増えたといえど、まだまだその活動が行き届いているかというところ、とても少ないと思います。」そう語るのは、竜爪園で地域福祉担当を担う二名のスタッフ。少ないと思われるかもしれませんが、そもそも社会福祉法人の中に、専門の地域福祉の部署があるのは日本全国探してもとても珍しいのです。

静岡市の子ども家庭課の事業、県の不登校支援の居場所づくり。様々な取り組みが始まっていますが、それでも支援の手は足りていないのが現実です。葵区の小中学生一万六千人に対して、支援に携わる専門職はまだまだ足りない現状があります。

両親共働きで時間の余裕がない。核家族化が進み、頼れる人がいない。そんな家庭が増える中、困りごとを抱えた子どもたちや家族は、声を上げることさえ難しい状況に置かれています。先代の理事長が、なぜ介護事業だけでなく、地域福祉に取り組みなければならぬと考えたのか。その答えが、ここにあるのです。

「負の連鎖」を断ち切るために

「貧困の連鎖防止」という取り組みがあります。子どもの貧困は、親御さんからの連鎖であることが多いのです。だからこそ、子どもの居場所づくりは、実は親御さんにとっての居場所でもあるのです。心の居場所として。そして、子どもが大人になった時の、拠り所として。

ここで大切なのは、支援の「あり方」です。「押し付けて支援してはいけない。支援する側、される側という関係性を見直す必要がある」と、語るスタッフの言葉は、とても重要な視点を示しています。上から目線の支援ではなく、共に歩む姿勢。それがこそ、本当の意味での地域福祉なのではないでしょうか。

竜爪園には、「地域福祉」専門のスタッフがいます。今回はその部署で、自らの足で地域を回り、情報を集めながら奔走するスタッフにインタビューをしました。地域福祉とは何かを、多くの方に感じていただければ嬉しいです。



地域への恩返しメニュー

竜爪園は、高齢者の介護施設としてだけでなく、地域の様々な困りごとに寄り添う活動を行っています。先代の理事長の「地域福祉をやらなくてはならない」という強い思いから始まったこれらの取り組みは、今では地域になくてはならない存在となっています。

朝市

地域の農家を応援します。「地産地消」おいしい採れたて野菜を、火・金曜日、竜爪園の玄関で販売しています

福祉バス「助さん」運行&移動支援

西奈地区社協と連携し、地域の「足」になります。公共バスがない地域、運転免許を返納された方のお役に立たせて頂きます

配食サービス

食事にお困りの方を支え、市の配食サービス利用まで食事をしっかりつなぎます

静岡 DWAT への参加

災害時に、福祉的課題の解決や避難所運営の補助の為、被災地で活動します

青色防犯パトロールの実施

地域の見守り隊として、防犯パトロールを行って、安心して暮らせる地域づくりに協力します

花火大会、地域防災訓練、老人センター、小中学校出前講座

地域の催しや訓練へ参加し、地域とのつながりを深めています

さまざまな課題を抱えるこどもたちの居場所づくり

こども達が、安心安全に過ごせる居場所を提供しています

働くことに課題を抱える若者の自立支援

「ひと」と「ひと」のつながりの中で、地域の中で若者を支えています
社会との繋がりづくりや中間的な就労体験場所の提供など行います

認知症カフェ「カフェ・ド・ラシーナ」

認知症があってもなくても住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう交流の場作りを行っています

介護予防講座「竜爪会」

S型デイサービスの無い山間地で、高齢者の介護予防や交流の場としてお手伝いしています

フードドライブ事業&きくちゃん弁当 配達事業

自宅で使用しない食品や作ったけど余剰となる野菜等を竜爪園内 BOX に提供いただき、必要な世帯へお届けします



これらの活動は、地域の皆様、行政、そして様々な団体との協力があってこそ実現できるものです。
気になることがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

社会福祉法人としての使命

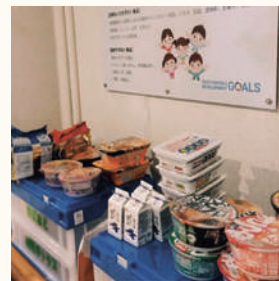
竜爪園は社会福祉法人として、税金を使って運営されています。株式会社とは違う、その存在意義は何か。「地域に貢献することが使命です」この言葉の重みを、私たちは日々かみしめています。先代の理事長から受け継いだこの使命を、どう形にしていけるか。居場所づくりでは、施設っぽくならないように。家庭が想像できる空間で料理をする。時間は限られている中でも、少しでも良いと思える空間ができれば、それでよし。そんな想いで、日々の空間作りに取り組んでいます。

地域と繋がって

「住民に理解してもらおうには」——これは常に私たちが向き合っている課題です。

平成27年から続く常葉大学や静岡福祉大学との繋がりは、大きな支えとなっています。社会福祉士を目指す学生たちのインターン実習の場として、また一般社団法人としてのひらとの連携を通じて、竜爪園は地域の中で少しずつ、確実に根を張ってきました。

瀬名地区での活動、学校から子どもたちの相談対応。スクールソーシャルワーカーとして教育委員会の試験を経て、より専門的な支援を提供できる体制も整えてきました。手探りで始まった取り組みが、今では地域に欠かせない存在となってきているのです。



竜爪園は、世代関係なく、様々な人たちが共に過ごせる場所であることを目標に、居場所づくりを続けています。高齢者の方々だけでなく、子どもたち、その親御さん、そして地域で孤立しがちな様々な人々にとって、「ただいま」と言える場所であり続けるために。地域福祉とは、特別なことではないのかもしれない。困っている人に気づき、手を差し伸べ、共に歩む。そんな当たり前のことを、当たり前のようにできる社会を作ること。先代の理事長が見た夢を、私たちは今、一歩ずつ実現しています。

竜爪園は今日も、地域の中で、皆様と共に生きています。
(インタビュー アートマネージャー久米)



心に寄り添い、ともに歩む

デイサービスセンターほっこりーな 釜田清子

私が竜爪園に入社したのは平成13年9月でした。当時竜爪園で介助員をしていた父からの紹介でした。最初は事務のお手伝いの5時間パートでした。

介護に携わるきっかけは、平成14年8月15日に立ち上げた、西瀬名デイサービス(現ラシーナ)のメンバーに誘われたからでした。何の経験も知識もない私にできるのか迷っていましたが、いざ足を踏み入れると毎日が充実していました。

西瀬名デイサービスでは、毎日の外出が日課となっていました。当時、竜爪園にはマイクロバスがあり、一台の車に職員、ご利用者が乗り込み、日本平や久能海岸などの静岡の観光地をドライブして回りました。

春にはお弁当を持って富士の岩本山公園にお花見に、夏は職員が仮装し夏祭り、皆でハワイアンダンスを踊りました。

冬にはお鍋を囲み忘年会。メのうどんと雑炊は格別でした。

竜爪園に入ってからたくさんの方と出会い、たくさんのことを学びました。

一番印象に残っている言葉、今でも大切にしている言葉は「お互い様」の言葉です。毎日を過ごす中で、お互いを思いやる気持ちの大切さを感じています。

また、自分が悩んだり落ち込んだ時には、あるご利用者からの「あなたは来るべくして竜爪園に来たんだよ」の言葉を励みにしてきました。

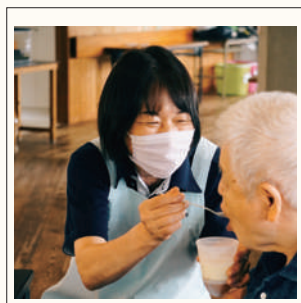
私たちの役目は、ご利用者だけでなくその方のご家族も支え、安心して在宅生活を送っていただくことです。

これからも、たくさんの方の笑顔を引き出し「楽しかったよ」と言って帰って行かれるのを見守っていきたいと思います。今まで出会った方、応援してくれる家族、仲間へ感謝です。



来るべくして

ここにいます。



竜爪家族へ
Q&A

好きな人：初孫の皿
お勧めの店：もんじゅのキムチラーメン&餃子&おでん
宝くじが当たったら：平屋の家を建てたい

Ryusou family Kamata Kiyoko

RYUSOU と生きる人 #09

29年と50年、あるいは75年

長尾川地域包括支援センター 古畑 真啓

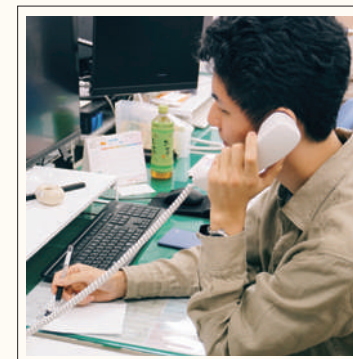
中学生の頃、地域の特別養護老人ホームを見学した時のことを、亀爪園に就職が決まった頃からよく思い出すようになりました。その施設では高齢者と職員が卓球をしていたことが一番印象に残っています。この頃から、自分が高齢者になった時、認知症になりたくない、老人ホームに入りたくない、認知症になったり施設に入ったりするくらいなら寿命は70歳くらいで十分だ、人の助けになる仕事はやってみたいが認知症高齢者の介護は大変そう、などと漠然とっていました。また、「この世界は生きるに値する」と宮崎駿監督が約10年前の引退会見で言っていたこともよく覚えています。当時、これを聞いた自分は80年、90年と生きた終着点、認知症になり施設で最期を迎える人生でいいのか、と考えるようになりました。

何の因果か亀爪園に就職することになり、ご利用者はもちろん、そのご家族、見学に来る高校生や中学生が亀爪園での介護を見たときに、自分と同じようなことを思わないだろうか、認知症になっても安心して楽しく生活を送ることができるのだと希望を持てるだろうか、と自問することがあります。5年以上働きましたが、全く分かりません。この答えは簡単に出るものではないし、見る人によって介護の捉え方は様々です。それでも、亀爪園に入所された方が「ここに来てよかった」と思っただけのような場所でなければと思いながら勤めてきました。

福祉の仕事をするにあたり、子どもたちが将来に対して期待を持てる社会である必要があると考えています。これまでケアワーカーとしては、ご利用者を中心にした介護になるよう心がけてきました。

9月から地域包括支援センターに異動となり仕事内容はガラッと変わりましたが、誰かのその人らしい生活を支えることが、今の高齢者はもちろん、いずれ高齢者になる人たちの希望にもなると信じ、仕事を続けていきたいです。

自問自答しながら
答え探しを続けます。



好きなこと：ドライブ（主に山道）、
子どもの成長を見ること
おすすめのお店：Barber & spa Cresta
（癒しの床屋）
宝くじが当たったら：NA、NB、NC、ND
ロードスターをそろえる

Ryusou family Furuhata Masahiro

#10

RYUSOU と生きる人

RYUSOU♥ANIMAL FAMILY

my family no.4

今回は、竜爪園ファミリー
佐野さん（栄養課）と
一緒に暮らしている
アニマル家族を
ご紹介します！



ダンボールは私のお城！
ごわん～

子どもの時から、左耳の後ろが、
ぼこっ、とはねているところが
チャームポイント！



ネコ
(アメリカン・ショートヘア)
13歳



駆け込み寺はダンボール！？家族にしか話さない言葉あり！

ココに「ご飯食べる？」と聞くと「ごわん」と言います。友達に言うと「そんなあ～？」と笑われますが、いつもの鳴き声とは明らかに違うんです。家族だけに聞こえる特別な言葉かもしれない（笑）
一日の大半は寝ているココですが、夜中に2回もごはんを要求します。起こし方にはプロセスがあり、まず顔を押し付け、次に爪を隠した手でポンポン。それでもダメなら爪を出してポンポン。最終手段は額に噛みつきです（笑）

だっこが嫌いなココにとって、ダンボール製のお部屋は駆け込み寺。だっこされる気配を察するとすぐに飛び込みます。家族の決まりは「ダンボールに入ったら絶対に引っ張り出さない」こと。
ある日、ノラネコが侵入してココと大ケンカに。慌てて素手で止めに入り、私もココも大ケガをして病院通いに。先生に「素手で止めに入るのはやめて！」と叱られました…。



職員（RYUSOU FAMILY）の
日々の疲れを癒してくれる家族を
ご紹介！愛らしい姿に、皆さんも
ぜひ癒されてください！

イベントレポート REPORT

今年も皆様のお力をお借りして
素晴らしい秋祭りを
開催できました！

楽しいこと、
美味しいものがいっぱい！
家族や仲間と楽しい時間。



竜爪園 秋祭り



10月19日、竜爪園で「秋祭り」を開催しました。
天候が心配されましたが、ご利用者の皆さまをはじめ、ご家族や地域の方々など多くの方にご参加いただき、笑顔あふれる一日となりました。

会場では、からあげ・オムそば・おむすび・クレープ・ホットドッグ・お餅ワッフル・甘夏ジュース・つぼ焼き芋などの多くのキッチンカーが並び、玄関ホールでは焼きそば・お好み焼き・無添加お弁当・お惣菜・キンパなど手作りの料理が並びました。屋台が並び、香ばしい匂いと楽しい音楽に包まれました。ご利用者の皆さまは職員・ご家族と一緒に屋台を巡り、「どれにしようかな」と楽しそうに選ばれていました。

ステージでは、地元の中学校・高等学校による吹奏楽の演奏、一輪車クラブやダンススクールの皆さんが日頃の練習の成果を披露、北龍太鼓による迫力ある演奏が披露され、会場は大きな拍手と歓声に包まれました。

久しぶりにご家族と一緒に過ごす時間を喜ばれる方や、地域の方々との交流を楽しむ姿も見られ、笑顔とぬくもりに満ちた日となりました。

開催にあたり、ボランティアの皆さま、出演団体の皆さま、出店にご協力いただいた事業者の皆さま、そして地域の皆さまに心より感謝申し上げます。皆さまのお力添えにより、無事に秋祭りを開催できたことを大変うれしく思います。



RYUSOU TEAM WORK

気になること、お気軽にご相談ください！



Team
居宅介護支援センター竜爪園
care support center



居宅介護支援センター竜爪園は特別養護老人ホーム竜爪園内に併設されています。現在、常勤非常勤合わせて5名の介護支援専門員が在籍しており、そのうち3名は主任介護支援専門員の資格を有しています。



出来立ては格別ですね！

ハッピーハロウィーン！



美味しいは生きる力

出来立ての美味しさをみんなで楽しむ

暑さが引いて風が秋めいた頃、ユニットでは馬場管理栄養士と中川調理師企画のおやつ作りが行われました。今回のメニューは、その場で焼き上げるスフレパンケーキでした。あったかいパンケーキには、クリームと大芋芋風のさつまいもがトッピングされ、秋らしいデザートに「おいしいね」「たくさん食べたいよ」と嬉しそうなお声がたくさん聞かれました。ハロウィーンが近かったこともあって、栄養課から手作りのハロウィーンステッキのプレゼントもありました。季節を感じるかわいらしい贈り物に、みなさんほっこりされていました。

自宅で挑戦！

厨房人気メニュー

鯖の味噌煮

- 材料（2人分）
- サバ 2切れ
 - 生姜（煮る用） 4g（スライス2切れ）
 - A
 - *醤油 10g
 - *料理酒 10g
 - *みりん 10g
 - *砂糖 10g
 - *水 50g
 - B
 - ・味噌 24g
 - ・砂糖 8g
 - ・水 30g
 - 生姜（針生姜用） お好み



- 《作り方》
- ① Aの調味料と生姜を鍋に入れて火にかける。
 - ② ①がしっかり沸騰したら、サバの皮面を下にして鍋に入れ、落とし蓋をして5分程度煮る。
 - ③ Bの調味料をボールに入れてよく混ぜる。
 - ④ ③を鍋の中に入れ、再度3分程度煮る。
 - ⑤ 皿に煮たサバを盛付、たれをかけ針生姜を中央にのせて完成。

- 《竜爪園ポイント》
- *沸騰した中にサバを入れることで、魚の臭みを消せます。
 - *煮すぎると身が硬くなってしまふ為、火加減に気を付けながら煮る。
 - *味噌を入れた後少し煮詰めることで、より味噌の風味が感じられます。



私たちにお気軽にご相談ください！



Q 居宅介護支援事業所って？

居宅介護支援事業所とは、介護保険法の趣旨に従い、介護認定を受けた高齢者が自宅において、その有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるように介護保険サービス、地域の社会資源を利用して、その人の生活を支援する事業所です。

事業所には介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格を持つ職員がいます。介護支援専門員は①ケアプランの作成（サービス調整）②定期訪問により状況把握（モニタリング）③ケアプランの変更支援④医療機関との連携⑤介護保険施設との紹介が主な業務となります。その他に保険者からの委託事業として介護認定調査も行います。

Q ケアプランって何？

介護保険サービスをどのように利用するかをまとめた計画書のことです。正式には「居宅サービス計画書」と呼ばれます。

介護保険サービス、地域の社会資源サービスの利用を受けるときに、ご利用者一人ひとりの状態や希望に合わせて作られる大切な書類です。

書類には①生活状況や課題②目標設定③サービス内容④サービス種類や回数等が記載されています。お医者さんからの処方箋と言ってもいいかもしれませんね。



Ryusou interview
この場所で。
働く選択をすること

※紹介した人牧野さん（写真右）、紹介されて入職した人杉山さん（写真左）
一人ひとりが、それぞれの想いを持ってこの場所を選び、日々働いています。ご利用者との何気ない会話や笑顔、共に過ごす時間の中で感じる喜び。そして、仕事のこと、家族のこと、これからのこと。職員たちの等身大の声から、この場所で働く意味が見えてきます。リファラル採用（職員紹介制度）について、インタビューしました。

職員紹介制度を利用したきっかけは？

牧野：杉山さんとは、ママ友から始まった親友です！一人目の子が小学校入学以来、早8年半。家族ぐるみのお付き合いです。そんな親友を紹介したいと思ったのは、一番は人柄。謙虚で気配り上手。温厚な人柄は竜爪園の職場風土にも合っていて、受付にピッタリだなあと。前職を退職されたときに、ピリピリと運命を感じました。
杉山：「困っているみんなをフォローしてくれる優しい温かい職場だよ♡」と教えていただきました。

Q どんなことを考えましたか？

牧野：職場の上司からこの制度を紹介された時に、真っ先に杉山さんが思い浮かびました。すぐに上司に会って話をしてもらいました。

杉山：紹介された時は迷いもありましたが、紹介してくださった牧野さんが温かく背中を押してくれたおかげで一歩踏み出すことができました。

Q 入職してどうでしたか？

杉山：聞いていた印象以上にみなさん優しく温かい職場です。休み希望もきちんと配慮してくれて働きやすいです。

牧野：なにかあればすぐ相談に来てくれるので安心でした。手持ちの仕事をお願いしやすく、予想以上に手早く丁寧にやって下さるのでとても助かっています。杉山さんと一緒に仕事ができるうれしいです。ぜひ長く働いて欲しいです。

Q この制度の良さは？

牧野：チームワークの良い竜爪園では、上司や同僚にも相談がしやすいので、この制度を使って人を紹介していくことにも抵抗はありませんでした。
杉山：いつも気にかけてくださり、わからないことも優しく丁寧に教えてもらえるのでとても心強いです！一緒に働いて本当に良かったと思います。

Q お互いにメッセージを

牧野→杉山さんへ：
頑張り屋さんのまりちゃん、いつもありがとう。無理をせず公私ともにこれからもよろしくお祈りします。
杉山→牧野さんへ：
優しくさでいっぱい職場を紹介してくださりありがとうございました。まだまだわからないことも多く、ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんがこれからもよろしくお祈りいたします♡



杉山さん 牧野さん

リファラル採用（職員紹介制度）

リファラル採用とは、職員の皆さんに、ご自身の知人やご友人で、「当法人で活躍できそうな人」をご紹介いただく採用方法のことです。人と人とのご縁を通じて、一緒に働いてくれる仲間を探しています。紹介を検討されている方は、お気軽に法人本部に声をかけてください。

ほっぴんポイント vol.2

竜爪園で働くスタッフと、ご利用者との会話の中から生まれた、「ココロがほっこりするお話を紹介します。竜爪園の心が温まるポイントの数々をお楽しみください。」

- 一度は看取り対応をすることになったご利用者に、そのご家族が「母の日一緒にむかえられたらいいね」と声を掛けていました。
- その時は「難しいんじゃないか・・・」と
- 思っていたが、ご飯が食べられるまでに元気に回復され、一緒にご家族と母の日を迎えることができました。
- その様子を見て、ほっこり。安心した気持ちになりました。



入社したての頃は、男性利用者に声を掛けても「うるさい」「関係ねーだろ」と言われていたが、最近は、お部屋の写真など質問してもらって返事をしてくれるようになりました。

編集後記

今月の編集室より

早くも師走になってしまいました。今年もあとわずか。今年やり残したこと、あと数日ありますので大慌てでやっつけていきたいですね。さて師走と言えばみなさまは何を思っていますか。クリスマス？餅つき？大掃除？いえいえ師走と言えばNIJです。特養ユニット時代は仕事しながらお年寄りとその家族と一緒に見ていたのもいい思い出です。
昨年の令和ロマン二連覇から今年は何んなドラマが起るのか。毎年新たなスターも誕生し個人的には一年で一番楽しみな一日です。常連のヤーレンズ始め、真空ジェシカがママタルトか、今年は決勝初出場も多いようです。12月21日（日）推しのエバースの優勝を願って・・・。

広報企画委員長 福貴 穂



今年も笑顔いっぱい
楽しい一年でしたね！
来年もたくさん
笑います！

恒友会様/すみれ会様/杉山敏子様/矢口美広様
西沢悦子様/伊久美勝久様/小林謙太様
JA 静岡市瀬名女性部様/常葉大学・静岡福祉大学
静岡県立大学等の大学生・高校生の皆様

ありがとうございました。

special thanks
ご寄付者様、
ボランティア様のご紹介



<https://www.love.or.jp>